職位/Position：教授 教員氏名/ Name：大塚正美	オフィスアワー/Office hours 火曜日 3 限、木曜日 3 限	研究室/Office number F 315

教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity

日本体育学会、日本教師教育学会、日本レジャー・レクリエーション学会、ランニング学会、陸上競技部顧問、大網白里市スポーツ振興審議委員、神栖市スポーツ振興審議委員

ゼミ名/Seminar

スポーツ・健康がもたらす社会貢献

２年次までに修得していることが望ましい科目/
Preferable courses should be taken before the end of second-year studies

スポーツ科学 II、体育史、生涯スポーツ概論、スポーツ社会学、スポーツ心理学、運動生理学

研究指導内容とその進め方/Teaching system and content

Ⅰ．初年度（３年次）/First year(third-year students）

春学期は、個人のテーマを健康やスポーツから選択しレポート（5.000 文字）を作成する。レポート作成後、各 10 分間のプレゼンテーションを行う。秋学期は、グループワークを健康やスポーツをキーワードにして、地域貢献や町おこし・村おこしのテーマを選択しレポート（5.000 文字）を作成する。レポート作成後、各 10 分間のプレゼンテーションを行う。授業の始めに、一般教養や教職教養・保健体育専門の勉強会を行う。

Ⅱ．次年度（４年次）/ Second year（fourth-year students）

随時、教養的な小テストで教養力を養います。そして、３年次に行ったレポートを土台として、健康とスポーツについて研究を行います。健康の意義やスポーツの求められている社会的な貢献を具体的に学び論文としてまとめます。また、学園祭に参加し模擬店等で企画・運営等の実体験やゼミ内発表会を行う。

Ⅲ．卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others

研究成果を卒業論文にまとめる。レポート作成時はパソコンを使用しての作業となります。レポート、卒業論文のゼミ発表時はパワーポイントを使用しての発表（発表時間 12 分）を行う。

教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books

生涯スポーツ概論（大塚正美著東京図書出版 2017 年 6 月 13 日）健康・スポーツ科学の基礎知識（スポーツサイエンスフォーラム編道和書院平成 20 年 5 月 1 日）テキスト総合型地域スポーツクラブ（日本体育大修館書店 2002 年 12 月 10 日市町村の都市計画 1、2、3 日（笠端著共立出版社 1997 年 6 月 25 日）セルフコーチ・ランニング（大塚正美著文芸社 2013 年 11 月 15 日）

ゼミライフ：(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps）

ゼミ生の自主的な企画と協力で、地域研究として夏季のキャンプと冬季のスキーを行います。

ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments

健康やスポーツに関して強い興味と関心を持っている者が好ましいです。さらに、その健康とスポーツを多角的に多くの人に伝えられる情熱を持っている学生であることを望みます。スポーツに係る関係から、積極的な授業参加や無遅刻・無欠席の出席状態なども充分に自覚して欲しいと思います。